

校長室だより

NO.13 平成29年11月15日

松原市立松原東小学校長 吉岡 英治

二十四節季 「小雪(しょうせつ)」

11/22頃十月中(神無月:かんなづき)太陽視黄経 240度 冷ゆるが故に雨も雪となりてくだるがゆへ也(暦便覧)陽射しは弱まり、冷え込みが厳しくなる季節。木々の葉は落ち、平地にも初雪が舞い始める頃。

下校時刻も11月から午後4時30分になりました。季節の進みと太陽の現れ方は、密接につながっています。朝は日本では子どもたちが感じることは少ないですが、夕方の日の落ちる時刻は格段の変化となっています。

学校でも外での遊びは、暗くなる前に家に帰ることと指導しています。ご家庭でも、ご協力お願いします。

後期の児童会の人たちが目標を考え全校児童に紹介してくれました。児童のみんなが考え行動できるように、がんばりましょう。



子どもに外面を意識させると、内面も鍛えることにつながる。10月末に1学期にも紹介しました態度教育指導に、本市教育委員松井直輝さんにご来校いただきました。1・2年生に直接指導いただき、気を付けの姿勢や板書するときの姿勢を教えていただき、姿勢を正すこと(椅子に浅く腰を掛け、立腰する姿勢)で学習の様子が、一生懸命さが伝わるものになりました。

是非、ご家庭でもやってみてください。



いのちをバトンタッチする会鈴木中人さんに、5・6年生にいのちの授業をしていただきました。鈴木さんは長女を小学校1年生で病気のために亡くされたご自身の経験から、命の大切さを全国の小・中学校、高校などで講演されています。「親より先に死んだらダメ。」と力強いメッセージもいただき、子どもたちの教室で感想を書く様子も参観いただきました。感想も多くの子どもたちが、その場で発表してくれました。参加いただいた地域・保護者の皆さんありがとうございます。

11月4日には、国際教室のふれあいタイムを行い、水餃子を家庭のレシピに沿って、餃子の皮から作る体験をしました。いろいろな文化や思いに触れ、他者の思いを知ることのできる子どもたちに育つようがんばります。ご協力いただいた保護者の皆さんありがとうございます。

